

福岡大学筑紫病院の基本理念

あたたかい医療

(私たちは、心の通う医療を実践しています)

私たちは地域に密着した救急医療を目指すとともに、大学病院として質の高い医療と情報を提供し、地域の皆様に安心と信頼を持っていただけるよう努めています。その基本は「人間性に立脚した医療」、その繋がりを大切に、患者さん本位の“あたたかい医療”を実践しています。

ちくし

眼科紹介

眼科診療部長のご挨拶



眼科 診療部長
久富 智朗

平素より福岡大学筑紫病院の診療連携におきまして、大変お世話になっております。私、久富智朗は2019年4月1日付けで、向野利寛前病院長、柴田陽三病院長のお許しを得て、眼科診療部長、准教授として就任いたしました。当院眼科では、向野利寛先生が難治性の重症網膜硝子体疾患治療の第1人者として多くの患者さんの診療・治療を精力的に行って来られました。向野利寛先生は同時に数多くの眼科医を指導され、臨床・研究・教育で活躍する優れた医師を輩出されています。また2代目の大島裕司先生は生物製剤である抗VEGF薬を用いた加齢黄斑変性をはじめとした網膜血管障害に積極的に取り組まれ筑紫地区の医療に貢献されて来られました。この度3代目眼科診療部長として伝統ある筑紫病院眼科に就任させていただき、大変光栄で身の引き締まる気持ちです。

筑紫病院眼科の診療案内をさせていただきます。2019年4月より診療部長が大島裕司先生より久富智朗に交代し、他の医師4人も交代しておりますので、以下の表のように2019年の診療体制を刷新しております。

当科は1990年の開設以来、増殖糖尿病網膜症や増殖硝子体網膜症などの網膜硝子体疾患、緑内障などの疾患に対し専門性の高い医療を提供して参りました。私も向野利寛先生、大島裕司先生同様、網膜硝子体疾患の手術療法を専門としております。今後も増殖糖尿病網膜症や裂孔原性網膜剥離、黄斑円孔、黄斑上膜などの網膜硝子体疾患に対する小切開硝子体手術、緑内障に対する線維柱帯切除術や低侵襲緑内障手術(trabeculotomy ab interno, etc.)、低加入度数分節型の眼内レンズなどの新型レンズを用いた白内障手術等の手術療法を中心に、正確できめ細やかな診断・治療を提供して参ります。今後ご紹介、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

外来担当医表 ※受付時間/初診 8:40~11:00

月	火	水	木	金
○久富智朗	手術日 予約再来 検査外来	○久富智朗	手術日 予約再来 検査外来	○久富智朗
藤田秀昭		山口宗男		藤田秀昭
芳賀 聡		森 貴之		山口宗男
森 貴之		橋本左和子		芳賀 聡

○：診療部長

再来は予約制となっております。予約時間に合わせておいでください。新患紹介は地域医療支援センターまでご連絡をお願い致します。専用の複写式FAX用紙をご用意しておりますので、お問い合わせください。急患につきましても地域医療支援センターにて急ぎの症例であることをお知らせください。詳細は当院のホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。

お問合せ先：092-921-1011 (地域医療支援センター：内1150、眼科外来：内2160)

がんセミナーを開催しました

令和元年5月28日(火) 筑紫病院においてがんセミナーを開催しました。「もっと知ろう肺がんのこと」というテーマで、当院外科講師の吉田康浩先生が講演しました。当日はたくさんの方にご参加いただきありがとうございました。今後も市民の皆さんに役に立つセミナーを予定していますので多くの方にご参加を心よりお待ちしております。



就労支援のための院内研修を実施しました

令和元年5月22日(水) がん患者支援の充実のため、「がん患者への就労支援について～医療従事者が知っておきたいこと～」というテーマで、社会保険労務士の吉田明文先生にご講演いただきました。

医療従事者として、治療と仕事の両立支援の知識を深めることができ、今後の支援に大いに活かせる研修となりました。



2019年度 第18回がんセミナー

福岡大学筑紫病院 福岡大学筑紫病院

～胃がんの診断・治療8最先端～

日時 令和元年8月5日(月) 14:00~15:00 (受付13:30~)

講師 福岡大学筑紫病院 内視鏡部 教授 八尾 建史 先生

場所 福岡大学筑紫病院3階ガーデンホール

※駐車場は外来駐車場をご利用下さい(有料)

2019年度 第19回がんセミナー

福岡大学筑紫病院 福岡大学筑紫病院

～腸がんについて～

日時 令和元年9月24日(火) 14:00~15:00 (受付13:30~)

講師 福岡大学筑紫病院 消化器内科 教授 植木 敏晴 先生

場所 福岡大学筑紫病院3階ガーデンホール

※駐車場は外来駐車場をご利用下さい(有料)

問い合わせ先 福岡大学筑紫病院 地域医療支援センター (担当:川浪 田代) TEL 092 (921) 1011 (内)1150
〒818-8502 筑紫野市俗明院一丁目1番1号 http://www.chikushi.fukuoka-u.ac.jp/

診療日のご案内

	循環器内科	内分泌糖原内科	呼吸器内科	消化器内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科 午後のみ	泌尿器科	眼科	耳鼻いんご科	放射線科
月	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
火	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[受付時間]
〈平日〉8:40~11:00
※皮膚科〈月曜〉14:00~診察(4月より診療日変更)

[休診日]
土曜日(7月より休診)・日曜日・祝祭日
年末・年始(12月29日~1月3日) お盆(8月15日)

[面会時間]
〈平日・土曜日〉13:00~20:00 〈日曜日・祝祭日〉11:00~20:00

交通のご案内



外来用駐車場 A:160台

JR・西鉄電車ご利用の場合
西鉄大牟田線「朝倉街道駅」下車……………徒歩3分
JR鹿児島本線「天拝山駅」下車……………徒歩3分

自家用車ご利用の場合
九州自動車道「筑紫野IC」より……………車で5分
県道31号線「鳥栖筑紫野道路」武蔵交差点より……………車で5分

※時間帯により、交通混雑が予想されますので、ご利用時間は目安としてください。
※なるべくJR、西鉄電車などの公共交通機関をご利用ください。



当院は2013年に新病院へ移転し、「地域に根ざした大学病院」を目標に掲げて診療・教育・研究に取り組んでいます。

教育面では初期研修医や他院からの医師を多数受け入れ、診療・教育・研究に当たっています。筑紫病院眼科の医局員の出身大学は多岐にわたり、出身医局も福岡大学と九州大学から来ており学閥に関係なく自由闊達な雰囲気の中で新たな知識や工夫を持ち寄り、お互いに切磋琢磨して臨床業務に従事し日々研鑽を重ねています。当院は福岡大学病院、九州大学病院と緊密に学生・医師・患者連携を行っております。

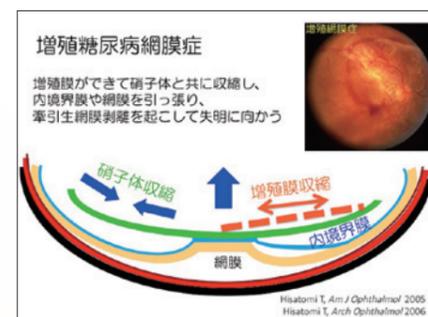
初診患者さんは2階の初診受付で手続き後、3階の眼科外来へお越しいただきます。眼科受付を済ますとお持ちいただいた紹介状や問診内容を元に、検査メニューを決め、国家資格を持った視能訓練士により必要な検査を実施致します。検査結果を元に1診医が診察を行い、散瞳検査など追加の検査計画を立案施行し、2診医とも協議の上で診断や治療方針を決めて参ります。

週に3回の回診、病棟カンファ、外来カンファ、画像カンファを元に患者情報や診断、治療方針を決定しその効果を評価しております。同時に情報や知識を共有することで若手医師を始め教育・研究も充実した効果を生み出しております。



眼科医師スタッフ、視能訓練士、看護師、研修医からなる外来診療チームです。

後列(左から) 森貴之(助手)、生駒輝(研修医)、芳賀聡(助手)、光武智子(産休中)
前列(左から) 山口宗男(助教)、久富智朗(診療部長)、藤田秀昭(医局長)



増殖糖尿病網膜症のメカニズム



マルチカラーパターンレーザー

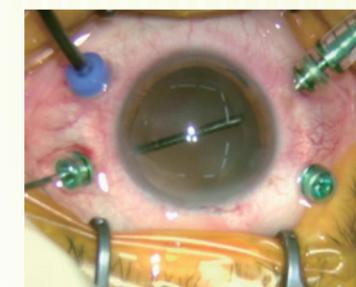
眼科入院病床は10床であり、9階西病棟を中心に治療を行っています。患者さんのため、外来から入院、手術などできるだけ円滑な診断・治療を速やかに行いたいと考えております。眼科定期手術日は火曜日と木曜日で、手術室6、手術室7で2室同時に並行して手術を行っております。手術室内にはすべて映像記録伝送システムが導入されており、手術中の画像映像がリアルタイムに配信されます。また、映像記録はライブラリ化されるため管理・視聴・二次利用可能となり、患者さんやご家族への説明・カンファレンス・学会発表の資料として活用しています。また本年より硝子体白内障手術機械として最新のBausch&Lomb社のStellaris PCを導入し、Zeiss Resight 広角観察顕微鏡システムや25Gトロッカーシステムを利用した小切開硝子体手術 (MIVS; minimal invasive vitrectomy surgery) など充実した手術体制を構築しております。また裂孔原性網膜剥離や眼球破裂などの救急疾患では、定期手術以外にも麻酔科医師、手術部と充実した協力体制のもとに早期の緊急手術を実施しております。

当院は地域医療支援病院として、地域医療の一層の充実を図る事を目的に、検査外来 (MR、CTなどの共同利

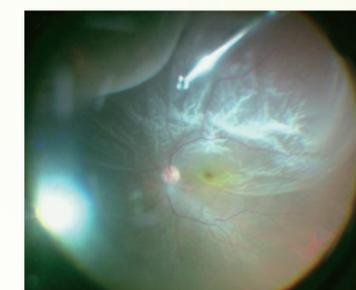
用) や開放型病院登録医制度の実施の他、逆紹介の推進、病院内での開放型病院登録医療機関のご案内などにも積極的に取り組んでいます。地域の先生方との連携を深め、患者さんから信頼され安心して受診していただけるよう、当院の基本理念である「あたたかい医療」を行ってまいります。また地域医療に貢献できる優秀な臨床医や大学病院・基幹病院を担う医師を育てることが当院の使命と考えています。今後も医学部学生、初期・後期研修医、若手医師の教育にも注力してまいります。眼科は若手中心の明るく元気な診療チームで、「やる気」に満ちあふれています。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



裂孔原性網膜剥離急患手術を終えて。手術場スタッフと連携チームを作っています。



硝子体手術トロッカーシステム



広角眼底システム網膜剥離手術画像

眼科 筑紫病診連携懇話会を開催 ~2019年6月7日~

日頃より大変お世話になっております地域の先生方へご案内し、更なる病診連携の確立、眼科医療の向上のために筑紫病診連携懇話会を開催させていただきました。お忙しい中多くの先生方にお集まりいただき、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。また地域の医療ニーズを肌で感じ取ることができ、当科医師全員の良い励みとなりました。懇話会では、まずはじめに藤田秀昭医局長より当科医師メンバーや診療案内、最近の新しい眼内レンズや低侵襲緑内障手術デバイスの紹介を致しました。続いて私が当科の手術療法についてご説明させていただきました。網膜硝子体疾患や緑内障、白内障、眼球破裂などの外傷の手術療法や最近の進歩について、またこれらの同時手術の方針についてご紹介しております。限られた医師と病床を効率的に運用するため、当面はこれらの内眼手術に特化して診療を行う方針をご説明させていただきました。外来は月曜、水曜、金曜日ですが、手術日も連絡体制を構築しておりますので、お急ぎの場合は地域医療支援センターへ急ぎの症

例であることをお伝えいただき、オンコール当番医と私で相談の上、診療にあたらせていただきます。病棟の効率化、入院日数の短縮、紹介数の増加を図り、手術症例数の増加に対応しております。今後も筑紫地区をはじめ地域の先生方のお役に立てるよう努力して参ります。今後とも筑紫病院眼科をご指導・ご鞭撻頂き、重ねてご紹介を賜りますようお願い申し上げます。



筑紫病診連携懇話会には多くの近隣の先生方にお集まりいただきました。紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。